

協働通信

都留市市民活動団体 情報交換会を開催しました

まちづくり市民活動支援センターは、地域おこし協力隊、社会福祉協議会と連携し、8月24日(水)いきいきプラザ都留において、「第三回都留市市民活動団体情報交換会を開催しました。26団体(ページ下参照)、39名の参加があり、活発な意見交換が行われ、都留市の市民活動団体同士のつながりの場となりました。



■市民活動団体交流会の様子。26団体39名が参加

今回の情報交換会は、今年3月11日に予定されていたものが、震災のため延期となっていたものです。震災を経てさらに注目されるボランティアやNPOですが、市内においても自主的な多くの活動が行われています。これらの活動団体が分野を超えて情報交換会を行う機会は、平成17年を最後に6年振りのことでした。今回の情報交換会は、一、分野を超えた各団体同士の交流と理解促進、一、新たな発想

当日のプログラム

■アイスブレイク

「たくさんの参加者と語り合おう！」
ゲストスピーチ(NPO 法人 都留環境フォーラム 加藤大吾)
「自分の想いを行動に移す」

■意見交換

「だれのために活動をしているか」
「この活動を進めるうえで、これが障害となっている！」
「これから都留市をどのようなまちにしていきたいか」

■意見の共有とシェア

と価値、ネットワークの創出、一、共生意識の更なる高揚を目的とし実施しました。

「自分の想いを行動に移す」とは

「自分の想いを行動に移す」と題しスピーチを行っていただいた都留環境フォーラムの加藤大吾さんは、06年に東京から都留市に移住し、田畑を耕し自給自足の生活を行いつつ、自然及び環境の視点からまちづくりに取り組んでいます。スピーチのな

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市上谷2-1-15
都留市役所
新町別館1階
▽開館
月～金(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(46)5236
FAX (46)5237

これからの都留市を考えて

意見交換では、グループになり、これからの都留市をどのようなまちにしていきたいかを話し合いました。世代や地域、分野を超えて活発な意見が交わされました。最後に全体発表を行い、都留市をよりよいまちにしたいという想いを皆で共有し合いました

参加者の声

○素晴らしい人達と出会うことができました。仲間と共に歩んでいきたい。○今日集まったメンバーで力を合わせればできるような気がして：都留市のことを考えるのが楽しくなりました。○地域の活性化！○つないでいく。新しい公共、小さな社会。



■ゲストスピーチNPO法人 都留環境フォーラム 加藤大吾氏

学び、発見 → 実践



参加団体一覧 ※団体名順

裏山観察会、NPO 法人 グリーンエネルギー、NPO 法人 住まいるネットワーク、NPO 法人 都留環境フォーラム、NPO 法人 むつみの会、NPO 法人 ヒューマン・サポート翼、NPO 法人 フィールド21、傾聴ボランティアハートの会、山友会、社団法人 都留青年会議所、生活支援隊ボランティアグループ、生活支援サービス まほうの手、宝地域協働のまちづくり推進会、地区ボランティアコーディネーター、つみかごの会、つる子どもまつり実行委員会、都留市学童保育連絡協議会、都留市男女共同参画推進委員会、都留文科大学 地域交流センター、都留ロータリークラブ、東桂地域協働のまちづくり推進会、東桂保育園、三吉地域協働のまちづくり推進会、めだかの学校 どんこクラブ、谷村地域協働のまちづくり推進会、work-waku 都留

地域のお知らせ!

10月23日(日) 宝地域
「健康づくりウォーキング」
時間 9時30分～15時
場所 上大幡公民館集合

10月24日(月) 禾生地域
「禾生地域健康ウォーキング」
時間 9時集合
場所 禾生第一小学校集合
持ち物 飲み物、雨具、弁当

10月27日(木) 谷村地域
「料理教室 地元材料を使って」
時間 13時30分～15時30分
場所 びゅあ富士
持ち物 200円、エプロン、三角巾

10月29日(土) 盛里地域
「盛里地域健康ウォーキング」
時間 9時30分集合
場所 都留市役所駐車場集合
持ち物 飲み物、雨具、弁当